

令和元年度 健全化判断比率の状況				Ⅲ 実質公債費比率								
指標の種類	積丹町の状況 (前年度数値)	早期健全化基準	財政再生基準	区 分	決算額 (単位: 千円、%)			左の内訳 (R1)				
					H29	H30	R1					
比率の状況	I 実質赤字比率 (%)	- (-)	15.00	20.00	元利償還金の額 (繰上償還額を除く。)	(1)	331,111	335,003	380,725	(4)の内訳	決算額 (単位: 千円)	
	II 連結実質赤字比率 (%)	- (-)	20.00	30.00	積立不足額を考慮して算定した額	(2)				簡易水道会計	61,307	
	III 実質公債費比率 ※3カ年平均	10.1 (9.9)	25.0	35.0	満期一括地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	(3)				下水道会計	27,705	
	IV 将来負担比率 (%)	65.4 (73.9)	350.0		公営企業債の償還の財源に当てたと認められる繰出金	(4)	109,977	101,871	89,031	国民健康保険会計	19	
					一部事務組合等の起こした地方債の償還に充てたと認められる補助金又は負担金	(5)	14,414	17,725	17,722			
I 実質赤字比率	区 分			決算額 (単位: 千円、%)	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(6)	17,772	1,016	9,072			
	繰上充当額 (A)				一時借入金の利子	(7)	142	24	120			
	支払繰延額 (B)				特定財源の額	(8)	14,987	13,493	14,177			
	事業繰越額 (C)				災害復旧費等に係る基準財政需要額	(9)	278,274	275,114	298,204			
	標準財政規模等 (D)			1,720,781	災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還金に係るもの)	(10)						
	実質赤字比率 ((A) + (B) + (C)) / (D)			-	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(11)	31,036	27,523	25,674			
	II 連結実質赤字比率			資金不足比率	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還金に係るもの)	(12)				(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)	
	区 分			決算額 (単位: 千円、%)	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(13)				利子補給	1,151	
	一般会計			(1)	密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金 (地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(14)	6,667	6,630	6,654	その他	7,921	
	一般会計等			(2)	小計 ((1)~(7)) - ((8)~(14))	(A)	142,452	132,879	151,961			
	法適			(3)	標準財政規模等	(15)	1,775,989	1,682,699	1,720,781			
	法非適			(4)	(9) ~ (14) の額	(16)	315,977	309,267	330,532			
	簡易水道事業会計			(5)	小計 (15) - (16)	(B)	1,460,012	1,373,432	1,390,249			
	下水道事業会計			(6)	実質公債費比率 (A) / (B) × 100		9.76	9.67	10.93			
	産業交流雇用対策推進事業会計			(7)	IV 将来負担比率				区 分			
国民健康保険事業会計			(8)	決算額 (単位: 千円、%)			左の内訳 (R1)					
後期高齢者医療会計			(9)	(N-1)年度末一般会計等の地方債残高	(1)	3,499,365			(3)の内訳	決算額 (単位: 千円)		
介護福祉サービス事業会計			(10)	債務負担行為に基づく支出予定額	(2)							
			(11)	一般会計等以外の会計に地方債の元利償還に対する一般会計等負担見込額	(3)	569,316			簡易水道会計	301,704		
			(12)	組合等の地方債の元利償還に対する当該団体の負担見込額	(4)	51,670			下水道会計	265,985		
				退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	(5)	632,258			国民健康保険会計	1,627		
				設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額	(6)							
				連結実質赤字額	(7)							
				組合等の連結実質赤字額相当額のうち当該団体の一般会計等の負担見込額	(8)							
				(N-1)年度末の充当可能基金現在高	(9)	1,095,590						
				特定の歳入見込額	(10)	98,158						
				地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	(11)	2,648,288						
				小計 (将来負担額 - (9) ~ (11))	(A)	910,573			(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)		
				標準財政規模等	(12)	1,720,781						
				災害復旧費等に係る基準財政需要額	(13)	298,204						
				災害復旧費等に係る基準財政需要額 (準元利償還金に係るもの)	(14)	0						
				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(15)	25,674						
				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 (準元利償還金に係るもの)	(16)							
				密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(17)							
				密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金 (地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(18)	6,654						
				小計 ((12) - 算入公債費等 (13) ~ (18))	(B)	1,390,249						
				将来負担比率 (A) / (B) × 100		65.4						
				(注)								
				1. 連結実質赤字額は、赤字会計の合計値と黒字会計の合計値の絶対値であり、赤字の場合は整数値となる (黒字の場合は負の数となる)。								
				2. 標準財政規模等とは、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えたもの。								
				【実質赤字比率】 一般会計の赤字が、町税や普通交付税の財源の規模である標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。								
				【連結実質赤字比率】 全ての会計の黒字や赤字を合算し、積丹町全体での赤字の程度が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。								
				【実質公債費比率】 一般会計が負担する借入金の返済額や借入金に準ずる経費が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。								
				【将来負担比率】 一般会計の借入金や、将来支払っていく可能性のある負債が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。								
連結実質赤字額 ((1)~(12)の絶対値) (A)			Δ 78,665	(注1)								
標準財政規模等 (B)			1,720,781	(注2)								
連結実質赤字比率 (A) / (B) × 100			-									